

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	生涯学習課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる					
		副目的	12-1		16-3							
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習推進計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	学校地域コーディネーターの活動を通じて、地域が学校を支援する機会と、中学生が地域活動に参加する機会を推進する。また、青少年健全育成市民会議への補助を通じて、市民会議全体の活動のほか、各中学校区健全育成会の活動を推進し、青少年の健全育成を図る。										
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。(補助金3,520千円) あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年によい本をすすめる運動・家庭の日推進運動)少年センターが市民会議の事務局となっている。 ・学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人～2人配置した。(報償費3,240千円) コーディネーターは学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。 ・インターネットの情報提供サイト「学びノート」で子どもたち等が参加できる情報を提供し、学校外での活動の啓発を図った。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コーディネータ謝礼等 2,148,000円 青少年健全育成市民会議補助金 3,520,000円 学びノート借上料 1,638,000円 その他、旅費、保険料等 269,601円 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コーディネータ謝礼等 3,280,000円 青少年健全育成市民会議補助金 3,520,000円 学びノート借上料 1,638,000円 その他、旅費、保険料等 674,000円 										
	受益者負担	無										

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,224	10,568	7,591	9,112	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,665	2,665	2,665	2,665
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	9,889	13,233	10,256	11,777
	対前年比		%		133.8	77.5	114.8	
財源	一般財源	千円	8,029	12,233	9,656	11,403		
	国・県支出金	千円	1,860	1,000	600	374		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	中学校地域コーディネーター人数	人	目標	9	9	9
実績				12	12	12	
学びノート情報登録団体数		団体	目標	10	10	10	10
			実績	11	5	5	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	中学校地域コーディネーター活動回数	回	目標	702	702	702	702
実績			667	702	672		
学びノートアクセス数	件	目標	120,000	120,000	120,000	100,000	
		実績	121,573	101,577	92,567		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学校地域コーディネーター事業に関しては、コーディネーターが支援する学校と地域をつなぐ活動が定着してきているが、目標達成できていない。 ・学びノートに関しては、アクセス数、登録団体数共に前年比を下回り目標達成できていない。 				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学校地域コーディネーター後継者の育成。 ・学びノートの周知、啓発方法。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	青少年の健全育成、学校と地域の連携支援、青少年の学校外での学び支援を行うことが出来ない。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度は新ホームページとの連携作業の不具合等から、学びノートへの情報の取り込みや、周知が行われない状況にあったことから、改めて、学びノートの周知を様々な機会を捉えて行う。 				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	青少年健全育成、学校地域コーディネーター活動については、現状維持だが、学びノートの内容充実や、周知徹底を図る必要がある。					
	26年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地クイズの問題数を増やすなど内容の充実を図る。 ・学びノートの新しい活用方法の紹介など、親しみやすい事例の紹介などをPRすることで、新しい利用者の獲得を目指す。 					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。